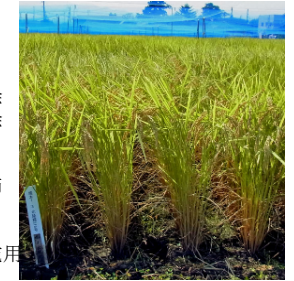


岩船地域における加工用もち米「ゆきみのり」の多収穫栽培ごよみ

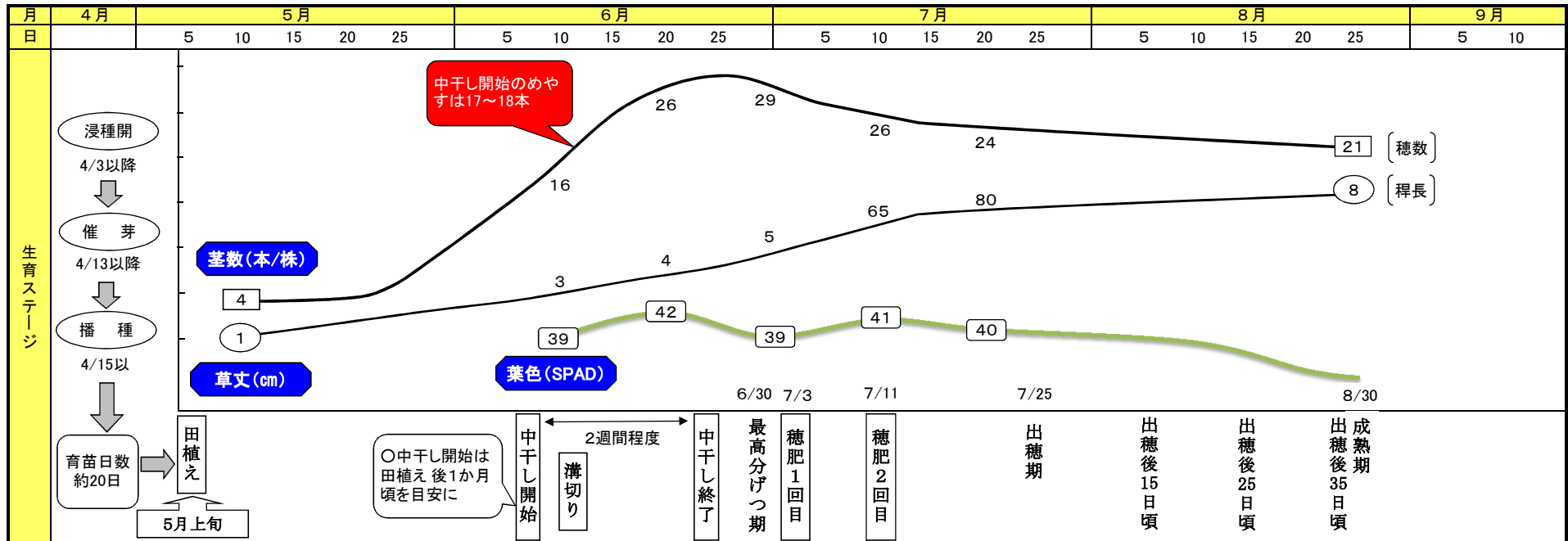


目標の収量構成と品質	
目標収量	660kg/10a
穂数	430~460本/m ²
1穂粒数	84~88粒
m ² 当り粒数	38,000粒
登熟歩合	78~84%
千粒重	21.2~21.6g

栽培のポイント

- (1) 健苗育成 : ①育苗日数は20日程度(加温20日、無加温25日) ②播種は4月15日以降、播種量は乾籾150g/箱
- (2) 過剰生育防止 : ①1株苗数3~4本植えとし、莖質向上 ②栽植密度は莖数早期確保のため60~70株/坪 ③基肥窒素量は5kg/10a程度 ④中干し・溝切りを徹底し、根の健全化と莖質向上 ⑤多肥栽培で倒伏すると登熟が大幅に低下するので注意
- (3) 登熟向上 : ①1回目の穂肥時期が幼穂形成期であるため、幼穂確認と遅れない穂肥 ②出穂前後25日間は飽水管理とし、田面を乾かさず地力窒素の発現を促進 ③落水は出穂25日以降とし、登熟向上
- (4) 病虫害防除 : ①いもち病の箱処理剤使用 ②いもち病とカメムシ類の同時防除 ③紋枯病の発生量に応じた適期防除
- (5) 胴割れ発生防止 : ①刈り遅れしない適期収穫 ②刈取水分に応じて乾燥温度を調節
- (6) 土づくり : ①稲わらの秋すき込み ②土づくり肥料や堆肥等有機物の施用

基本は「適正生育量の確保」と「登熟の良い稲づくり」



肥料の種類	肥料名	10a施用量	窒素成分量
土づくり資材や堆肥	岩船米ソイル元気	60kg	-
基肥	とびきり444	30~36kg	4.2~5kg
穂肥1	穂肥500号	13kg	2kg
穂肥2	穂肥500号	13kg	2kg
基肥一発肥料	早生スーパー元肥パワフル30	30kg	9.0kg

※肥料や施肥量は地域の地力に応じて決定してください。

○中干しは小ひびが入る程度

生育を確認して穂肥の量を調節!

【穂肥のめやす】

回数	時期
穂肥1回目	出穂23~21日前
穂肥2回目	出穂14日前

※1回目は遅れないこと

【穂いもち・カメムシ同時防除】

回数	時期	薬剤
1回目	7月下旬	混合剤使用
2回目	8月上旬	混合剤使用

※時期はカメムシ防除を主体

○収穫は出穂後の積算温度で1000℃

○秋すき込みは、地温の高い10月20日頃までに実施